

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2018-190914 (P2018-190914A)

【公開日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-046

【出願番号】特願 2017-94551 (P2017-94551)

【国際特許分類】

H 0 5 K 7/06 (2006.01)

H 0 2 G 3/16 (2006.01)

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/06 C

H 0 2 G 3/16

H 0 5 K 7/20 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 27 日 (2019.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

(基板 2 1)

基板 2 1 は、長形状であって、絶縁材料からなる絶縁板に銅箔等からなる導電路が印刷されたプリント基板とされており、バスバー 4 0 A ~ 4 0 C の接続部 4 2 が挿通される複数のスルーホール 2 2 と、ネジ 6 7 でネジ留めするための複数のネジ孔 2 3 A , 2 3 B とが貫通形成されている。基板 2 1 は、放熱部材 3 0 の上面の縁部を除いた全面に重ねられており、図示しない複数の電子部品が実装されている。複数の電子部品は、F E T (Field Effect Transistor)、コイル、コンデンサ、抵抗等からなる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

内枠部 5 6 は、図 6 に示すように、L 字状に曲がってバスバー 4 0 B が圧入される圧入孔 5 8 を有する内枠本体 6 0 と、台座部 5 2 と連結される連結部 6 1 とを有する。

外枠部 5 1 の下面(裏面)には、四隅の位置に、基板 2 1 に載置される複数の載置部 6 3 が形成されている。複数の載置部 6 3 は、円柱状であって、下方(基板 2 1 側)に突出している。なお、載置部 6 3 の形状は円柱状に限られず、例えば、角柱状としたり、外枠部 5 1 の延びる方向に沿って延びる長尺の形状としてもよい。載置部 6 3 の下面(裏面)には、図 5 に示すように、下方からネジ 6 7 でネジ留め可能な留め部 6 4 が形成されている。留め部 6 4 には、基板 2 1 のネジ孔 2 3 B を通ったネジ 6 7 の軸部がネジ留めされるネジ孔が形成されている。

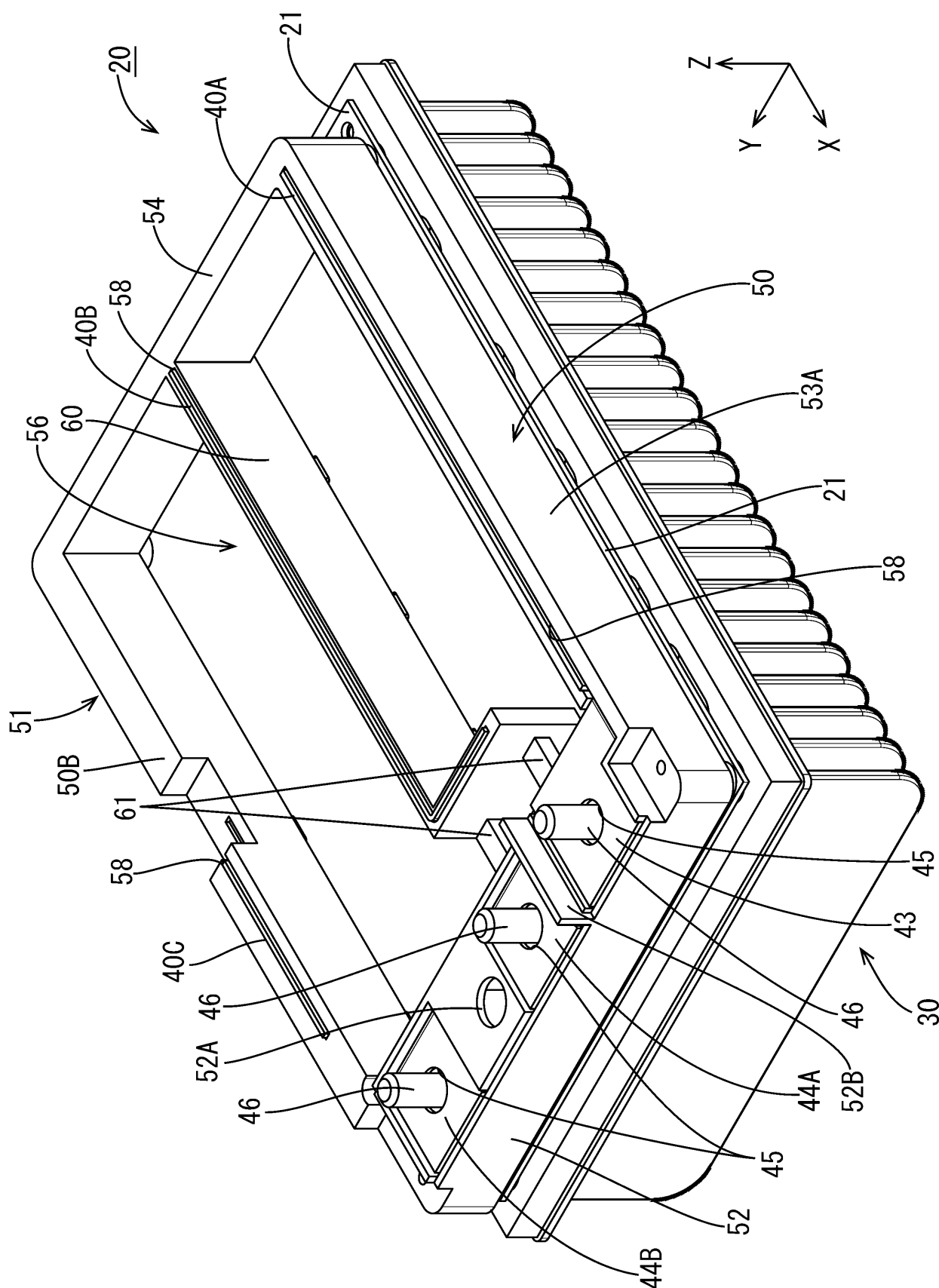
【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更
【補正の内容】

【 図 1 】



【 手 続 補 正 4 】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 6
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 6】

